

平成28年度

東京外国語大学秋期間アカデミー講座

「世界のことばの実態に迫る  
ーコーパスから何が見えるか？」

企画：東京外国語大学 語学研究所

## ご案内

---

このたび語学研究所では「世界のことばの実態に迫る ―コーパスから何が見えるか?」をテーマに公開講座を企画・開講することとなりました。

本講座ではこれまでさまざまな言葉について紹介してきました。本年度は府中キャンパスでの開催とし、「コーパス」というあらたなテーマにそって各講師がお話を進めてまいります。

現代の言語研究では各種のコーパスが盛んに利用されています。コーパスとは言語テキストの集合体で、コンピュータで大量のデータを瞬時に検索できるというメリットがあります。この講座では英語、ドイツ語、スペイン語、中国語、日本語、朝鮮語、マレーシア語を対象として、それぞれの言語でどのようなコーパスがあり、それらを利用することで、ことばの使われ方の実態にどのように迫ることができるかを具体的にわかりやすくお話しします。広く言葉に関心のある方のご参加をお待ちいたしております。

## 日程・講師

---

- |     |           |  |
|-----|-----------|--|
| 第1回 | 10月4日(火)  | 「ドイツ語のコーパス ―大量のデータから何が見えるか?」<br>成田 節 東京外国語大学教授                                       |
| 第2回 | 10月11日(火) | 「日本人の英語・中国語の誤用と日本語の特性：東京外国語大学国際多言語<br>学習者コーパスにおける前置詞・テンス・アスペクトの誤用」<br>望月圭子 東京外国語大学教授 |
| 第3回 | 10月18日(火) | 「韓国語コーパス言語学の現状と展望」<br>南 潤珍 東京外国語大学准教授  |
| 第4回 | 10月25日(火) | 「コーパスから見える英語の文法と意味」<br>大谷直輝 東京外国語大学講師  |
| 第5回 | 11月1日(火)  | 「コーパス言語学の素人がスペイン語コーパスを使ってみる」<br>川上茂信 東京外国語大学教授                                       |
| 第6回 | 11月8日(火)  | 「マレーシア語のコーパスから見るコーパス言語学の理想と現実」<br>野元裕樹 東京外国語大学准教授                                    |

- いずれも火曜日、19:20～20:50（質疑応答を含む）
- 専門知識・予備知識は必要ありません。
- 教材は各回ごとに配布します。教材費は不要です。
- 最終回に受講証書を授与します。
- 毎回教室入り口の受付において出席を取ります。
- 記録保存のために、教室後方から講演の様子を撮影させていただきます。ご了承ください。

## 会場

---

東京外国語大学 府中キャンパス 講義室

〒113-0033 東京都府中市朝日町 3-11-1 (駐車場はございません)

<http://www.tufs.ac.jp/access/tama.html>

- JR 中央線： 「武蔵境」 駅のりかえ、西武多摩川線「多磨」 駅下車、徒歩 5 分 (JR 新宿駅から約 40 分)
- 京王電鉄： 「飛田給」 駅北口より「多磨」 駅行き京王バスにて約 10 分、「東京外国語大学前」 下車



## お問い合わせ先

---

東京外国語大学

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

受講申込みについては...

⇒⇒ 総務企画課

Tel : 042-330-5823 / Fax : 042-330-5140 / E-mail : [tufs-openacademy@tufs.ac.jp](mailto:tufs-openacademy@tufs.ac.jp)

ホームページ : <http://www.tufs.ac.jp/common/open-academy/index.html>

講座の内容については...

⇒⇒ 語学研究所

Tel : 042-330-5407 / Fax : 042-330-5408 / E-mail : [ilr419@tufs.ac.jp](mailto:ilr419@tufs.ac.jp)

ホームページ : <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ilr/index.html>

## 各回の概要

---

### 第1回 10月4日 (火)

「ドイツ語のコーパス —大量のデータから何が見えるか？」

講師：成田 節 東京外国語大学教授

現代の言語研究では各種のコーパスが盛んに利用されています。コーパスとは言語テキストの集合体で、コンピュータで大量のデータ —中には単語数にして数十億語のものもあります— を瞬時に検索することができます。この講座の第1回目「ドイツ語のコーパス —大量のデータから何が見えるか？」では、コーパス一般について概説した後で、ドイツ語の大規模コーパス、特にマンハイムのドイツ語研究所で公開している COSMAS II とベルリン・ブランデンブルク科学アカデミーで開発している DWDS を中心にドイツ語の大規模コーパスを紹介し、それらを利用することでドイツ語の文法・語法の実態にどのように迫ることができるか、具体的な事例を紹介しながらわかりやすくお話しします。

---

### 第2回 10月11日 (火)

「日本人の英語・中国語の誤用と日本語の特性：東京外国語大学国際多言語学習者コーパスにおける前置詞・テンス・アスペクトの誤用」

講師：望月圭子 東京外国語大学教授

学習者誤用コーパスを使った日本語・英語・中国語の対照研究と英語・日本語教授法を紹介します。英語学習において、日本語を母語とする私たちは、母語の影響を受けた英語の誤用をおかします。例えば、ある航空会社の機体にロゴの一部として使われているキャッチフレーズ “Inspiration of Japan”(日本のインスピレーション)。日本語母語話者としては、なんとなくわかったような感じがします。ただ、英語母語話者は、一様に「非文法的」という反応です。なぜなら、「inspiration は、移動事象だから、ある inspiration があるところからあるところに伝わるという意味がある。このため、inspiration from Japan が正しい」ということだそうです。鍵を握るのは、日本語の連体修飾の「の」は、英語では、さまざまな前置詞に相当します。日本語の「の」は「なんでも屋」なのです。

日本語を学習する学習者も、無意識のうちに、自分たちの母語の影響をうけた誤用をおかします。こうした誤用データは、東京外国語大学では、以下のサイトにオンライン英語・中国語・日本語誤用検索サイトとして公開されています。

<http://ngc2068.tufs.ac.jp/corpus/>

東京外国語大学では、海外の協定大学、イギリスリーズ大学、北京大学、上海外国語大学、国立台湾師範大学からも英語・日本語学習者作文データの提供をうけ、東京外国語大学英語専攻・中国語専攻・日本語専攻でも作文データを収集し、誤用類型を分析しています。その誤用分析から、どのような母語干渉がみられるのかを探り、学習者の母語にねざした効果的な外国語教授法開発を考えたいと思います。

---

### 第3回 10月18日(火)

#### 「韓国語コーパス言語学の現状と展望」

講師：南 潤珍 東京外国語大学准教授

コーパス言語学の研究分野は大きく2つに分けられます。1つは、コーパスの作り方やコーパス分析ツールの開発など、コーパスそのものが対象となる研究であり、もう1つは、コーパス分析で得られた頻度情報に基づき、対象言語の構造を記述・解釈する研究です。第3回では、1)韓国語のコーパス作り及び分析ソフトの現状を概観し、2) 私自身の研究を含め、実例を挙げながら、コーパスに基づいた韓国語研究の成果を紹介します。そしてコーパス分析を通じて得られた情報を韓国語教育などへ応用する方案やその問題点を検討します。

---

### 第4回 10月25日(火)

#### 「コーパスから見える英語の文法と意味」

講師：大谷直輝 東京外国語大学講師

電子化された言語データの総体であるコーパスには、現実に使用されるありのままのことばの姿が現れます。コーパスに現れることばの姿は、学校で教えられる規範的な文法とはかなり異なることもあります。また、言葉の使用者である私たち人間が世界をどのようなものとして捉えているかの手掛かりにもなります。

この講座では、英語の大規模コーパスの一つである The British National Corpus を用いて前置詞、形容詞、句動詞などの基本的な文法事項を概観することで、英語の話者が世界をどのようなものとして捉え、どのような言語形式を用いて認識した世界を表しているかについて考えていきたいと思います。

---

### 第5回 11月1日(火)

#### 「コーパス言語学の素人がスペイン語コーパスを使ってみる」

講師：川上茂信 東京外国語大学教授

スペイン語研究において今やコーパスは欠かせない存在になっています。しかし、大量のデータを扱い、適切な統計的処理を施すといった、コーパス言語学と呼ぶに相応しい研究をしている研究者は少数です。私もその点では「素人」に過ぎませんが、日々の研究・教育にコーパスを役立てています。

今回は、スペイン王立アカデミーがウェブ上で公開している、誰でも無料で使うことのできるコーパスを取り上げ、素人なりにツールとして役立てる方法を考えてみます。

---

---

第6回 11月8日(火)

「マレーシア語のコーパスから見るコーパス言語学の理想と現実」

講師：野元裕樹 東京外国語大学准教授

本講座の最終回では、研究・教育があまり進んでいない言語 (less studied/taught languages) におけるコーパス言語学の例として、マレーシア語を取り上げます。マレーシア語のコーパスとして言語図書館 (Dewan Bahasa dan Pustaka) のコーパスと Malay Concordance Project を紹介します。その後、私自身が日頃、マレーシア語の教育や研究に取り組む中で、これらのコーパスがどの程度役立っているかをお話します。英語を例に啓蒙されている、利用主体のコーパス言語学は、多くの言語では理想にすぎず、実際には自ら小規模なコーパスを構築したり、検索サイトを用いたりするなど、適宜、目的に応じた方法を取捨選択することが必要となります。

---